



アメリカ合衆国 ⑩ 移民が作りあげた国

超大国として世界に大きな影響を与えるアメリカ合衆国は移民によってつくりあげられ、発展しました。多くの民族が暮らす中、県系移民を含む日系人がどのように生きたのかを、2回に分けて紹介します。

アメリカ合衆国(西部)

アメリカデータ

首都	ワシントンD.C.
人口	3億3000万人
面積	962.8万km ²
主な言語	英語
公用語	スペイン語

- イエローストーン国立公園**
1872年に世界初の国立公園に指定。60〜90分おきに約4万回の熱水を吹き上げる間欠泉が自慢。火山活動で形成されたユニークな地形が楽しめます。
- ハンバーガーとコーラ**
アメリカを代表するファストフードで、世界中に広まりました。
- グリズリー**
北アメリカにすむ大型のフマ
- ハリウッド**
アメリカの映画産業の中心地。サンタモニカ丘陵にあるHOLLYWOODの文字がランドマーク
- ラッシュモア山**
4人の元大統領の巨大な肖像が彫刻されている人気の観光スポット
- カウボーイ**
牧場で牛の世話をする牧師。西部開拓時代には野生の牛を狩り集めて都市まで運びました。映画や小説にも取り上げられ、アメリカの象徴となっています
- タオス・プエブロ**
1000年以上前に造られた先住民の集落。日干しレンガで造られ、今でも150人以上のプエブロ族が昔ながらの生活をしている

経済、流行の中心地

広い国土を持つアメリカは、北アメリカ大陸の48州に、大陸北西部にある飛び地のアラスカ州、太平洋にあるハワイ州からなります。大陸本土は西側の山岳地帯、内陸部の中央平原、東部の高地、大西洋沿岸部の海岸平野に分けられ、変化に富んだ豊かな自然に恵まれています。

アメリカ合衆国は1776年にイギリスから独立しました。建国前から多くの移民を受け入れており、今でも多くの民族や文化が暮らしています。建国245年の歴史の浅い国ですが、世界の政治や経済、金融、軍事、エンターテインメントの中心として、他国に強い影響を与えています。



人種問題抱える多民族国家

北アメリカ大陸には元々先住民が住んでいましたが、16世紀以降、ヨーロッパの人々が移住を始めました。大型農場(プランテーション)などの労働力としてアフリカから多くの人々が連れてこられました。その後も中南米、中国、インドなどからも人々が集まり、世界有数の多民族国家として発展します。しかし、アフリカ系、アジア系への差別は絶えず、根深い人種問題を抱えています。現在、多様な民族がお互いの文化を尊重しながら共存する「人種のサラダボウル」のような多民族国家を目指しています。

義務教育は小学校5年、中学校3年、高校4年の12年間で、公立校でも学区で教育方針が異なります。日本の大学のように単位制を導入しており、自分で授業を選ぶことができます。アメリカンフットボール、バスケットボール、アイスホッケー、野球が4大メジャースポーツ。中でもアメフトとバスケットが人気です。安さと手軽さが人気のファストフードが生まれたのもアメリカです。しかし、アメリカ人の1日の平均摂取カロリーは3800kcalと世界最上レベル。肥満が社会問題になっています。



県系人の歩み

排斥された日系移民

沖縄県系人がアメリカ本土に初めて渡ったのは1889年。当初はハワイやカナダに渡った県系人の転住でした。その頃のアメリカは中国人移民の入国を禁止したため、労働力が足りず日系移民の需要が高まっていた。県系移民も他の日系移民とともに、アメリカ西部開拓に伴う鉄道敷設工事や農園、缶詰工場で過酷な労働に従事しました。正式な移民として直接アメリカ本土に県民が渡ったのは1903年のことです。以来40年までに813人が渡航しました。沖縄県から直接アメリカに渡った人より、ハワイやメキシコからの転住者が多かったとされています。1907年、アメリカ本土には9万人もの日系人が住んでいました。勤勉で低賃金でも働く日本

人労働者のせいで、多くの白人が失業したとして国内で反感が高まっていきます。同年、「航海禁止令」が出されハワイやメキシコにいる日本人移民がアメリカ本土に転航することを禁じました。翌08年には「日米紳士協約」が結ばれ、日本からの移民は写真結婚による妻や父母兄弟の呼び寄せ以外が禁じられます。その後、ますます排日運動が激しくなり、13年にカリフォルニア州で日本人が新たに土地を所有することを禁じる「外国土地法」が公布されました。24年には「排日移民法」が施行され、アメリカへの移民の道は完全に閉ざされてしまいました。反日感情にさらされながらも、日系移民は各地でコミュニティを形成、出身地域ごとに県



1920年代初頭、カリフォルニア州南部にあった唯一の沖縄県系人経営の農家「上田安座間氏苗圃」。イチゴを栽培していた。出典：国立国会図書館デジタルコレクション(インターネット公開『南加州同胞発展写真帖 福島源太郎編 文林堂書店』大正2)

人也会組織されました。1世の中には農場や牧場を持つ成功者も現れます。日本の中国侵略などによって、アメリカ国内で日系人への不信感、反感はますます高まります。そして1941年、日本のハワイ・真珠湾攻撃により、アメリカ国民である2世も含めて日系人は危険な敵国人として扱われるようになりました。

ステキな先輩!

琉球舞踊 日々芸磨く

ロサンゼルス出身・県系2世 小野えいみさん(32)

県庁で翻訳や通訳の仕事に携わる小野えいみさん(32)＝那覇市＝は、カリフォルニア州ロサンゼルス出身の県系2世です。糸満市出身の母の勧めで、幼い頃から琉球舞踊を習い続け、より深く芸の道に進むため沖縄に渡りました。

ロサンゼルスで地域の学校に通い、多様な文化的背景を持つ友だちとともに育った小野さん。水泳

や習字などさまざまな習い事に通いますが、続いたのは舞踊でした。道場には多くの県系人が通っていたため、自然と県人会活動にも参加するようになり、2013年にアメリカで開催された世界若者ウチナンチュ大会にも参加しました。「外国ルーツを持つ県系人や県系4世5世の若者の沖縄への思いに圧倒された」と振り返ります。

大学卒業後は、旅行関係の日系企業で働いていた小野さん。25歳で一息発し県費留学で沖縄を訪れます。県立芸大で琉球舞や琉球古典音楽、組踊など芸能一色の日々を送りました。舞踊だけでなく笛や三線の新人賞にも合格した小野さんは「もっと沖縄で稽古を続けたい」と留学後も沖縄に残ることを決意。県庁で通訳として働きながら、日々芸を磨いています。

仕事を辞めて沖縄に留学した過去を振り返り、「新しい世界に飛び込むのは怖いかもしれない。でもきっと何とかなる。まずは挑戦してほしい」とエールを送りました。



首里城の舞台上で「浜千鳥」を踊る小野えいみさん＝2019年5月

絶大な人気誇るアメフト

アメリカの4大メジャースポーツには、世界最高峰のプロリーグがあります。日本人選手も活躍するMLB(野球)やNBA(バスケットボール)のほか、NFL(アメリカンフットボール＝アメフト)、NHL(アイスホッケー)があります。中でもNFLは絶大な人気があります。アメフトは、だ円形のボールを使うのでラグビーに似ていますが、攻撃専門、守備専門、キックだけの選手など役割がはっきりしているのが特徴です。体の大きな選手がぶつかり合ったり、その間を切り裂くように走り抜いて得点したりする様子は迫力満点。攻撃の司令塔・ク

ォーターバック(QB)が狙い通りに長いパスを通すと、観客も盛り上がりを見せます。NFLは全米各地に拠点を持つ32チームが争います。スタジアムはどこも巨大。試合の何時間も前から駐車場にパーベキューする「テールゲートパーティー」を楽しむ人たちもいます。毎年2月には今シーズンのチャンピオンを決める試合「スーパーボウル」があります。例年1億人前後の視聴者数、40%前後の視聴率を誇ります。人気のアーティストが出演するハーフタイムショーも含め、国民的一大イベントになっています。今年は日本時間の14日行われます。

